

公開収録一般参加者募集のお知らせ

2016年10月4日 火

東京大学本郷キャンパス
情報学環福武ホールB2F
ラーニングシアターにて

(17時30分開場) 18:00-19:30

先着順・事前申し込み制・入場無料
定員80名

【東大構成員限定 先行申込】

9月6日12時～9月13日12時まで
(定員40名に達し次第締切)

【一般申込受付】

9月13日12時より (定員40名に達し次第締切)

※本イベントは、現代作家アーカイヴ構築のためのインタ
ビュー収録を公開で行うものです。当日の様子は撮影され、映像
はインターネット等で公開される予定です。映像に関する権利
はすべて飯田橋文学会に帰属し、個人の映像の削除等のご依頼
にはお答えできません。また、当日の質疑応答の時間は限られて
いるため、質問の数を制限させていただく可能性がございます。
以上ご了承のうえ、参加をお申し込みください。

申込ホームページ

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/4206>

※障害がある方で会場設備等に配慮が必要な場合や、そのほか
運営担当者に事前に連絡しておくべき事項等がありましたら、
申込フォームにご記入ください。



【聞き手】都甲幸治
(翻訳家・早稲田大学教授)

筒井康隆

(小説家)

〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会
文学インタヴュー第7回

筒井康隆自選の代表作

「日本以外全部沈没」(1973)

(ほか角川文庫『日本以外全部沈没 ―パニック短篇集』所収作品)

『虚人たち』(1981)

(サブテキストとして『着想の技術』(1983) 所収の
エッセイ「虚人たち」について)

『世界はゴ冗談』(2015)

(所収作品の中では特に「ペニスに命中」を扱う予定です)

※収録当日は、これらの作品を軸に作家が語ります
ぜひ、ご一読のうえでのご参加をお薦めします



写真提供: 朝日新聞

飯田橋文学会〈現代作家アーカイヴ〉とは?

平野啓一郎(作家・飯田橋文学会)

本プロジェクトでは、現在活躍中の作家を毎回一人ゲストに招き、自らの代表作を三作選んでもらった上で、
創作活動の全般について、インタビューを通じて語ってもらいます。

読者にとっては、その作家の何をまず読むべきか、また作品相互をどう関連づけるべきかを知る、格好のヒントとなるでしょう。

インタビューは、公開収録によって映像化され、原則的にすべて英訳字幕を付されて、ネット上に公開されます。

国内外の多くの文学ファンにとって、貴重なアーカイヴとなることを期待しています。

お問合せ: bungakutaiwa@utcp.c.u-tokyo.ac.jp